

事務事業	514001	生涯学習推進事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	514020 生涯学習の機会や場の充実	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	市民			

事務事業目的	誰もが、生涯をととして豊かに学び、学びをととして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習の充実を図ります。
事務事業内容	生涯学習に取り組む機会や学習の成果を発表する場の充実、生涯学習に取り組む市民団体の活動の促進に向けて各種講座等を開催します。 また、生涯学習に関する情報提供の充実に向けてポータルサイトの更なる活用の環境を構築するとともに、生涯学習情報コーナーにおける相談機能の充実を図ります。
実施形態	一部委託
成果指標	生涯学習・社会教育に関する事業への参加者数 令和元年度実績： 214,092人
活動指標	（活動指標1）「さやま学びの仲間たち」への掲載団体数 （活動指標2）生涯学習ボランティアの活動件数 （活動指標3）生涯学習情報コーナーにおける相談件数（件/月） 令和元年度実績： 活動指標1：1,399団体 活動指標2：383件 活動指標3：183件

事業コスト計算

事務事業費予算額	7,359,000 円
事務事業費決算額	7,049,818 円

R1 事務分担表による「事務に係る人数」	1.65 人
R2 事務分担表による「事務に係る人数」	1.63 人

予定値

直接事業費	7,359,000 円
人件費	13,599,967 円
総額	20,958,967 円

確定値

直接事業費	7,049,818 円
人件費	13,180,839 円
総額	20,230,657 円

見直し実績	インターネットの普及に伴い、いつでも、どこでも、誰もが容易に生涯学習に関する情報を得ることができるよう、ホームページやさやまシルシエの更新を随時行った。	
事務事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）学習したことを活かして地域社会に貢献したいと思う人が増加している。 （強み）生涯学習に取り組む多くのサークルなどが活発に活動している。
	必要性	学びを通して自分を磨き高め、学びの成果を社会に活かすうえで、生涯学習の機会や場の充実を図ることは重要であり、本事業の必要性は非常に高い。
	効率性	生涯学習に取り組むサークル情報の集約・発信や、さまざまな主体と連携・協働した講座の実施等、生涯学習の機会や場を充実させているなど効率性は高い。
	方向性	生涯学習の推進については、今後も市民と協働して事業をすすめていく。

事務事業	514041	レファレンスサービス（資料相談業務）事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	514020	生涯学習の機会や場の充実
区分	必要性	高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	図書館利用者			

事務事業目的	様々なニーズに対してきめ細かな対応が取れるようレファレンスサービス（資料相談業務）の充実を図ることにより、利用者の学習や調査活動を支援します。
事務事業内容	相談業務についての研修機会を確保することにより職員の能力向上を図るほか、レファレンスツール（参考図書や検索サービス等）の充実を図ります。
実施形態	直営・指定管理館（狭山台図書館）
成果指標	レファレンス回答率（レファレンス回答数/レファレンス受付数） 令和元年度実績： 27/35 77% ※今年度よりレファレンス協同データベースに入力したものを対象とした。
活動指標	（活動指標1）レファレンスに関する参考図書の購入数（年度末集計） （活動指標2）レファレンスに関する研修受講者数（年度末集計） 令和元年度実績： 指標1 92冊 指標2 3人

事業コスト計算

事務事業費予算額	1,916,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	1.72 人
事務事業費決算額	1,825,436 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	1.93 人
予定値		確定値	
直接事業費	1,916,000 円	直接事業費	1,825,436 円
人件費	14,176,935 円	人件費	15,606,760 円
総額	16,092,935 円	総額	17,432,196 円

見直し実績	国立国会図書館のレファレンス協同データベースにレファレンスの内容を登録し、職員が参照しやすい環境を整えた。	
事業評価	内部要因 外部要因	ニーズ いつでも誰でも使える学習の場が求められている 強み 広報紙や公式ホームページ、SNSの効果的な活用による情報提供体制の充実
	必要性	図書館は、だれでも無料で利用できる身近な施設であり、学習意欲のある方からのニーズは多様化・高度化している。また、狭山市に関しての様々な相談もあり、各種資料がそろっていることから、課題解決を図るうえで図書館の役割は大きい。
	効率性	利用者の相談に応じた資料の提供や新聞記事、法情報等のデータベースを活用して、省スペース化を図っている。高度な相談には、国立国会図書館、県立図書館と連携も可能であり、支援体制が充実している。
	方向性	相談者のニーズを的確に把握し、求める資料を迅速に提供するため、資料の収集と職員の知識の研鑽に努め、利用者の課題解決や知識の習得を支援する。もって、文化教養の向上を図る。